



NPO法人  
日本アレルギー友の会  
〒135-0002  
東京都江東区住吉2-6-5  
インテグレート村上3F  
TEL 03 (3634) 0865  
FAX 03 (3634) 0850  
http://www.allergy.gr.jp/  
mail j-allergy@nifty.com  
郵便振替 00130-6-109985  
編集発行人 堀内 繁

## あなたに合った

# 吸入ステロイド薬は

## どれでしよう?

「あおぞら」では、ガイドラインに沿った治療で今やぜんそく治療の第一選択肢といわれている吸入ステロイド薬に関して、多くの記事を掲載してまいりました。また、吸入ステロイド薬は飲み薬のステロイド錠剤に比べ、ごく微量でも気管支への局所作用で効果が発現し、たとえ血液に吸収された成分があつた場合でも、肝臓を一度通過すると分解され効力がなくなることを、何回も専門医の講演会から私たちは学びましたので、一般的にいわれている吸入ステロイドの怖さは吸入薬にはないことがよく理解できていると思います。

今回は、主に専門医で処方される代表的な7種類の薬を取り上げ(P2表、今、どの種類の薬が自分に合っているのか、どのような理由で症状が軽快しているのか、あるいは改善しないのか、声がれや喉の痛み等の副作用が多いがほかに薬はないのか、などについて検討し、より良いぜんそく治療を受けられるお手伝いができればと思います。

なお、吸入ステロイド薬の選択・使用量は、



最新の吸入ステロイド薬

あくまでも専門医の指導の下できめ細かく処方されるもので、勝手に患者自身が決めるものではありません。また、吸入ステロイド薬は長期管理薬ですので、発作がある場合は対症療法を必ず受けてください。

### よくある相談より

★27歳の息子ですが、2歳の時に小児ぜんそくと診断され、就学時はスポーツ万能でした。気管支拡張剤の吸入薬は時々使用していましたが大きな発作はなく、今は仕事で疲れた時にβ2吸入薬を使う程度で治まっています。吸入ステロイド薬を長期管理薬として使用していけば良いと知り、処方してもらっていますが、なぜかピンとこないらしく使用を怠っています。

◆目次◇

主な吸入ステロイド薬一覧……………	(2)
医師と患者のパネルディスカッション 「患者の心理」(アトピー編)……………	(3)
ぜんそくQ&A③……………	(5)
「患者だからわかる」シリーズ書評……………	(7)
「プロボノ」でホームページリニューアル……………	(7)
顧問の先生からのメッセージ⑩……………	(8)

相談員 時々β2吸入薬を使う必要がある場合は、気管支に炎症があるといわれています。最近、吸入ステロイド薬とβ2気管支拡張剤の合剤が2種類発売されています。アドエアとシムビコートです。気管支拡張効果と長期管理の予防効果が同時にできるので、治療効果が実感できる薬剤です。専門医に相談の上使用してみるのも良いのではないのでしょうか。

★78歳のおばあちゃんが初めてぜんそくと診断されました。吸入ステロイド薬を吸う力・肺活量がありませんので、効いているのか心配です。どのような種類のものが良いのでしょうか。

相談員 肺活量が少ない人用の吸入ステロイド新薬「アズマネックス」など、操作が簡単で高齢者に合ったものが発売されています。また、エアゾール式のものやスプレーを使つて行くと、吸う力もそれほど必要ありませんのでお勧めできます。主治医に相談しておばあちゃんに合った処方をお願いしてみたいかがですか。また、これからは、乳幼児向けに発売されているパルミコート吸入薬が成人向けに発売される予定です。これですと電動ネブライザー使用で、吸う力がかなり少なくて使用できます。

★吸入ステロイド薬を医師から勧められてい

ますが、うがいを励行しても声がれがなかなか治りません。どうしたら良いのでしょうか。相談員 吸入ステロイド薬は現在主に7種類あり、その中でもドラパウダーとエアゾールタイプとあり、どちらかというとエアゾールタイプのほうがどの付着率が少ないといわれています。薬剤の性状も含め、主治医と相談して変えてみることも必要ですね。また、食事する前に吸入を行うと、のどに付着した薬成分が食事とともに一緒に流れてしまい、のど痛や声がれの副作用を少なくすることもできます。

これまでに相談のあつた中から代表的な3例を紹介しました。使用方法は詳細にわたり専門医の指導が必要です。専門医とよく相談して、よりベストな吸入ステロイド薬を使用して快適な毎日を送ってください。

(文責・編集部)

●ステロイド吸入薬について常任顧問の公立学校共済組合関東中央病院呼吸器アレルギー内科部長・坂本芳雄先生よりコメントいただきました。

ステロイド吸入薬は気管支拡張薬との合剤の2種を含め、計7種が販売されています。1つ1つ特徴があり、いずれも優れた薬剤です。パウダーとスプレーの2タイプに分かれます。装置の工夫、吸入回数、声がれなどの副作用の出方、さらには薬の粒子径などを念頭に入れ、使用する方の呼吸機能、理解力、遵守力に合わせて薬を選びます。吸入ステロイドは調子が良いとつい吸い忘れがちになりますが、毎日毎日使用することが、快適な日々を送るためにはとても大事です。